

(証券コード:7995)

株式会社」「じし力」

▶2021年3月期 決算説明会

— 2021**年**5**月**27**日**







Hard & Seal Engineering Service

Tech & Electronics
General Machinery

Transportation System Chemical & Energy Plant

*本資料上の予想・計画数値は、作成日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります *本資料上の変動率(%)の算出にあたっては、可能な限り円単位に基づいた計算をしており、百万円単位での計算とは異なる場合があります



- ► 2021年3月期 連結決算・事業概況
- >中期経営計画 "NF2022" 戦略進捗状況
- > 2022年3月期 予想·計画
- >創業100周年に向けて



- 連結決算•事業概況
- ▶事業環境の悪化と先行投資負担の増加により減収・営業減益
- ▶3Qで受注が底打ち、4Qに収益が大幅回復

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
売上高	51,243	48,212	44,717 (<u>^</u> 7.2%)
営業利益	5,609	4,214	3,475 (<u>17.5%)</u>
親会社株主 に帰属する 純利益	4,087	2,918	3,090 (+5.9%)
売上総利益率	37.3%	37.3%	39.2%
営業利益率	10.9%	8.7%	7.8%
純利益率	8.0%	6.1%	6.9%
ROE	12.4%	8.8%	9.0%
			(百万円)

対前期収益 主要変動要因

- -先端産業市場(半導体関連)向け 高機能シール製品の拡販等による プロダクトミックス変化を反映し、 売上総利益率が上昇
- ・上期に機器市場・プラント市場向けが 減速、下期には回復
- •ポストCOVID-19を展望した 先行投資により、費用が増加
 - ・・・先端産業市場向け拠点・体制の拡充
 - ・・・基幹システム刷新等のIT投資
 - ・・・リモートワーク対応の強化
- ・政策保有株式の売却による 特別利益の計上



連結業績半期推移

2021年3月期

連結決算•事業概況

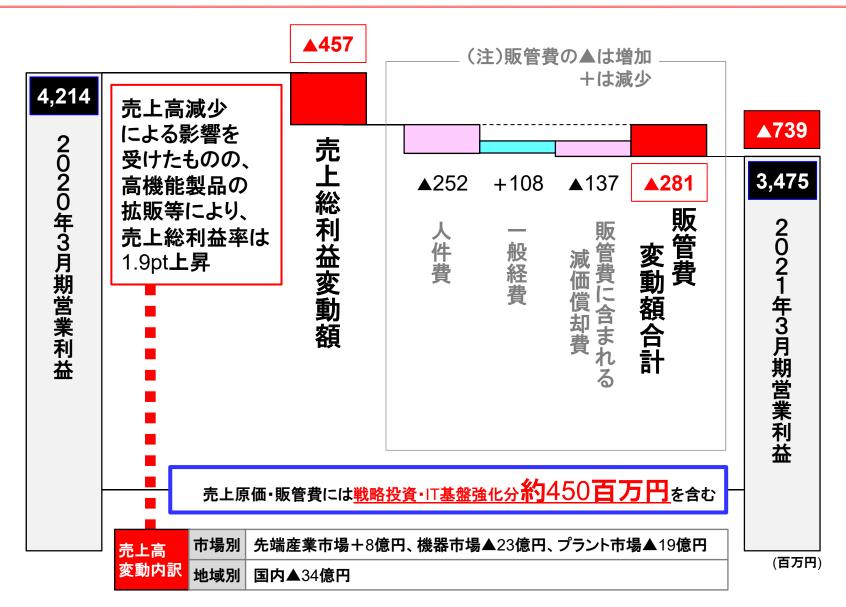
	2019 年 3 月期 3-4Q	2020 年 3 月期 1-2Q	2020 年 3 月期 3-4Q	2021 年 3 月期 1-2Q	2021 年 3 月期 3-4Q
売上高	25,159	24,915	23,296	21,630	23,086
売上総利益	9,209	9,447	8,527	8,624	8,893
販売管理費	6,806	6,902	6,857	6,938	7,103
営業利益	2,402	2,545	1,669	1,685	1,789
親会社株主 に帰属する 純利益	1,733	1,816	1,101	1,803	1,287
売上総利益率	36.6%	37.9%	36.6%	39.9%	38.5%
営業利益率	9.5%	10.2%	7.2%	7.8%	7.8%
純利益率	6.9%	7.3%	4.7%	8.3%	5.6%



営業利益変動要因分解

2021年3月期

連結決算•事業概況





バランスシート及びキャッシュ・フロー

2021年3月期

連結決算•事業概況

	バランスシート(主要科目)					
	2021年3月期 末	2020年3月期 末	2019 年 3 月期 末			
	15,417	13,197	15,157	負債合計		
	37,274	34,930	34,378	純資産合計		
	52,691	48,128	49,535	負債純資産 合計		
	67.7%	69.3%	66.2%	自己資本 比率		
>>	4,153	3,071	3,744	有利子負債		
>>	▲3,946	▲3,572	▲3,364	ネット有利子負債		

キャッシュ・フロー(主要科目)					
	2020年3月期	2021年3月期			
営業CF	5,362	5,121	4,586		
投資 CF	▲ 1,960	▲ 2,799	▲2,323		
フリーCF	2,262				
(百万円)					

"NF2022"戦略遂行と長期経営目標の 達成に向け、積極的な活用を計画

- 成長市場に向けた供給能力の増強
- ► R&Dの強化と事業領域の拡張
- > リモート体制強化など業務効率の向上
- ► COVID-19のような不測の事態発生を 意識した企業耐性の強化



市場別売上高•地域別売上高

2021年3月期

連結決算•事業概況

市場別売上高					
	2019年3月期 2020年3月期				
先端産業 市場	178億円 157億		165億円 (+5.1%)		
機器 市場	181億円	169億円	146億円 (▲13.6%)		
プラント 市場	149億円	152億円	133億円 (▲12.5%)		

先端産業:半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等機 器:産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車、官公庁等プラント:重化学工業プラント(新設・メンテナンス)、電力・ガス等

(備考)

3市場合計値と連結売上高との差額は、端数と"その他市場"による

	2019年3月期	2020年3月期	2021 年 3月期 (前期比)
国内	36,486	33,958	30,483 (<u>^</u> 10.2%)
国内比率	71.2%	70.4%	68.2%
海外	14,757	14,253	14,233 (<u>^</u> 0.1%)
海外比率	28.8%	29.6%	31.8%
アジア	10,165	9,859	9,085 (<u>^</u> 7.8%)
北米	4,410	4,233	4,988 (+17.8%)
その他	181	161	159 (▲1.0%)



セグメント別業績 シール製品事業

2021年3月期

連結決算•事業概況

▶主に海外の先端産業市場向けが伸長

▶機器・プラント市場向けは4Qに回復

セグメント 業績	2019 年 3 月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
売上高	33,593	32,071	31,349 (<u>A</u> 2.3%)
セグメント 利益	4,447	3,360	4,160 (+23.8%)
利益率	13.2%	10.5%	13.3%

業績	3 月期 3-4Q	3 月期 1-2Q	3 月期 3-4Q	3 月期 1-2Q	3 月期 3-4 Q
売上高	16,459	16,316	15,755	15,398	15,951
セグメント 利益	1,825	1,887	1,472	2,095	2,065
受注高	16,736	15,490	15,932	15,503	15,947
期末 受注残高	4,232	3,406	3,583	3,688	3,684

2019年 2020年 2020年 2021年 2021年

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
	市場別	売上高	
先端産業 市場	95.5億円	88.5億円	104.0億円 (+17.5%)
機器 市場	140.0億円	134.0億円	118.5億円 (▲11.6%)
プラント 市場	100.0億円	98.0億円	90.5億円 (▲7.7%)

地域別売上高						
国内	国内 25,356 24,065					
海外	8,236	8,006	8,942 (+11.7%)			
海外比率	24.5%	25.0%	28.5%			



セグメント別業績 機能樹脂製品事業

2021年3月期

連結決算•事業概況

- ▶ 顧客の設備投資先送り等の影響により、各市場向け販売が減少
- ▶ 下期に先端産業市場向け中心に受注高が回復

セグメント 業績	2019年3月期	2020年3月期	2021 年 3月期 (前期比)
売上高	14,313	13,089	10,742 (<u></u> 17.9%)
セグメント 利益	777	554	▲ 588 (+→ ▲)
利益率	5.4%	4.2%	▲5.5%

	半期業績	2019 年 3 月期 3-4Q	2020 年 3 月期 1-2Q	2020 年 3 月期 3-4Q	2021 年 3 月期 1-2Q	2021年 3 月期 3-4 Q
	売上高	7,034	6,865	6,223	4,936	5,805
	セグメント 利益	363	409	145	▲339	▲249
1						
	受注高	7,915	6,814	5,909	4,461	6,841
	期末 受注残高	3,601	3,550	3,236	2,762	3,797

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
	市場別	売上高	
先端産業 市場	53.5億円	42.0億円	38.0億円 (▲9.5%)
機器 市場	40.5億円	35.0億円	27.0億円 (▲22.9%)
プラント 市場	48.5億円	53.5億円	42.0億円 (▲21.5%)

地域別売上高							
国内	9,561	8,330	6,689 (<u>19.7%)</u>				
海外	4,752	4,758	4,053 (<u>14.8%</u>)				
海外比率	33.2%	36.3%	37.7%				



セグメント別業績 シリコンウエハーリサイクル事業他

2021年3月期

連結決算•事業概況

- ▶ シリコンウエハーリサイクルは黒字を確保するものの、一部顧客の内製化により減少
- ▶ COVID-19によりH&S商材など新規事業の販売は停滞

セグメント 業績	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
売上高	3,336	3,051	2,625 (<u></u> 14.0%)
セグメント 利益	384	299	▲96 (+→ ▲)
利益率	11.5%	9.8%	▲3.7%

半期業績	2019 年 3 月期 3-4Q	2020 年 3 月期 1-2Q	2020 年 3 月期 3-4Q	2021 年 3 月期 1-2Q	2021年 3 月期 3-4 Q
売上高	1,665	1,733	1,317	1,295	1,329
セグメント 利益	214	248	51	▲ 69	▲26
受注高	1,686	1,772	1,219	1,266	1,316
期末 受注残高	284	323	225	196	183

	2019 年 3 月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
	市場別	 売上高	
先端産業 市場	29.0億円	26.5億円	23.0億円 (▲13.2%)
その他 市場	4.0億円	3.5億円	2.5億円 (▲28.6%)

地域別元上高						
国内 1,567		1,562	1,387 (<u></u> 11.2%)			
海外	1,768	1,488	1,237 (<u>16.9%)</u>			
海外比率	53.0%	48.8%	47.1%			



セグメント別業績 受注高・売上高・受注残高四半期推移

2021年3月期

連結決算•事業概況

		2020年 3 月期 3Q	2020 年 3 月期 4Q	2021 年 3 月期 1Q	2021 年 3 月期 2Q	2021 年 3 月期 3Q	2021 年 3 月期 4Q
	連結	10,835	12,226	10,475	10,756	11,092	13,013
受注高	シール	7,654	8,278	7,843	7,660	7,429	8,518
高	機能樹脂	2,595	3,314	1,957	2,503	2,970	3,870
	SWR他	585	634	674	592	692	624
	連結	11,645	11,650	10,960	10,670	11,117	11,968
売上	シール	7,789	7,966	7,916	7,482	7,726	8,224
高	機能樹脂	3,192	3,030	2,342	2,593	2,742	3,063
	SWR 他	663	653	702	593	649	680
期	連結	6,469	7,045	6,560	6,646	6,620	7,665
木一受	シール	3,270	3,583	3,510	3,688	3,390	3,684
末受注残	機能樹脂	2,953	3,236	2,852	2,762	2,990	3,797
高	SWR他	244	225	197	196	239	183

前四半期比変動要因

受注高

<機能樹脂製品事業> 主要3市場で回復

受注残高

<シール製品事業> 先端産業市場向けで高水準 の状況が継続

<機能樹脂製品事業> 特殊タンク製品の大型案件等 で積み上げ

(百万円)

*SWR他=シリコンウエハーリサイクル事業他



設備投資•研究開発費•原材料価格変動影響

2021年3月期

連結決算 事業概況

設備投資(着工・進行中案件)

<全社>

- ・基幹システムの刷新やリモートワーク 環境の整備
- ・生産拠点の環境対策・自動化の強化
- くシール製品事業>
- ・先端産業市場向け製品の研究開発拠点 の設置(米国・高機能シール製品)
- <機能樹脂製品事業>
- ・先端産業市場・プラント市場向け製品の供給体制の整備(台湾・特殊タンク製品)

原材料価格変動影響

・金属材料の上昇があったものの、 ふっ素樹脂原料の値下げを反映

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (前期比)
設備投資額	2,289	2,907	3,500 (+20.4%)
<参考> 設備投資額 (着工基準)	3,116	3,281	3,549 (+8.2%)
減価償却費	1,716	2,099	2,466 (+17.5%)
研究開発費	1,068	1,065	1,006 (<u>\$</u> 5.6%)
研究開発費 比率	2.1%	2.2%	2.2%
原材料価格 の変動による 原価への影響	352	▲ 23	▲ 46



新型コロナウイルス感染症の影響

2021年3月期

連結決算•事業概況

2021年3月期 第1-2四半期

生産など企業活動への影響

- 第1四半期には海外の一部生産拠点で社員の出勤停止等により稼働率が低下
- 国内外とも原材料や部品の入手状況は特段の変化なし
- ・国内全拠点においてリモートワーク・時差出勤を推進。働き方改革への対応を加速
- 海外拠点はコンプライアンスを第一に、各地の状況に応じた勤務を実施

社外要因による販売への影響

- ・自動車・産業機械など機器市場向けの販売にマイナスの影響
 - ・・・自動車向けは第2四半期から回復基調
 - •・・中国向けなどの特需を除くと産業機械向けは大きく減少
- ・先端産業市場向けで世界的なリモートワーク増加等を背景にした需要が発生
 - ***第2四半期では一部で反動減が発生

2021年3月期 第3-4四半期

社外要因による販売への影響

- ・主要3市場のいずれも影響はほぼ解消
 - •••先端産業市場は旺盛な半導体需要•設備投資を背景に高水準を維持
 - •••機器市場は自動車関連•一般産業機器向けで回復
 - ・・・プラント市場は顧客事情による先送り案件が業績化し、底打ち



2021年3月期

連結決算•事業概況

	第2四半期末 (中間)配当	期末配当	年間配当	自己株式取得	株主還元性向
2020年3月期	50.0円	50.0円	100.0円		60.3%
2021年3月期	45.0円	50.0円	95.0円		54.2 % ^(予想)
2022年3月期 (予想)	50.0円	50.0円	100.0円	_	67.8%

配当と自己株式取得をあわせた金額を「株主還元」と設定し、還元総額の親会社株主に帰属する当期純利益に対する比率、すなわち「株主還元性向」の50%を目標としつつ以下の事項を勘案し、株主還元を行う。

- 将来の企業価値の最大化に向けた設備投資及び研究開発投資並びに戦略的投資の必要性
- ・リスク管理体制の強化や人材開発の拡充などの企業基盤整備並びに事業環境の変動に対する 備えの重要性

当社グループの連結株主還元性向は以下の基準を採用

連結株主還元性向=

(当年度配当金総額+当年度業績を基準とした自己株式取得額)÷当年度当期純利益



- >2021年3月期 連結決算·事業概況
- 一中期経営計画"NF2022" 戦略進捗状況
- > 2022年3月期 予想·計画
- >創業100周年に向けて



基本方針①



NVシリーズ の成果



創業100周年 への改革

- 環境変化に耐えうる体制の実現
- 次の時代に通用する価値創造力の獲得



創業100周年を超えて次の時代に さらなる健全で持続的な成長を実現するために 「THE VALQUA WAY」のもと グループー丸となり大胆でダイナミックな 事業基盤を再構築しよう



前中計"NV・S8"における一部の戦略を進化のうえ継続し、 "NF2022"においてはチャレンジによる成功例を積み上げる





- 1. 選択と集中による既存事業領域の収益拡大と新規事業領域の獲得
 - ≫成長市場向け戦略への集中投資の実行
 - ≫ H&Sコンセプトの浸透による新たな事業機会の獲得
- 2. オープンイノベーションの強力な実行(提携·M&A等の加速)
 - ≫ 従来の視点に捉われない新分野・新商材開発力の強化
- 3. 大胆な投資(研究開発と人材育成)の加速
 - ≫ R&Dの拡充と社員一人ひとりの"人財化"による価値創造力の向上
- 4. ITの徹底活用による全部門の効率化と顧客サービスの追求
 - ≫ 新基幹システムによる業務品質と新生産技術による製品品質の向上
- 5. グローバル人材の活性につながるダイナミックな施策の実行
 - ≫グループ経営陣の多国籍化などのボーダーレス人事の推進



新型コロナウイルス感染症や、日中・日韓・米中関係等の 変化による産業地図の動きに柔軟にかつダイナミックに対応 17



経営目標数値



長期経営目標の達成に向けたファーストステップとして営業利益率10%への回復と強靭な企業体質を確立

	"NV•S8" 最終年度
	2020年3月期
売上高	48,212
営業利益	4,214
親会社株主 に帰属する 純利益	2,918
営業利益率	8.7%
ROE	8.8%

	(百万円)
"NF2022 最終年月	
2023年3月期	期間変動率
55,000	+14.1%
5,500	+30.5%
3,700	+26.8%
10.0%	+1.3pt
10.0%以上	+1.2pt以上

達成に向けた重要要素・課題

- ▶戦略市場向けの拡大
- ▶H&Sコンセプトによる 商材の業績貢献
- ►R&D強化やM&A実施 による新たな価値創造
- ▶ポストCOVID-19の 事業環境変化への 迅速な対応
- ▶聖域なき"選択と集中" の速やかな実行



主要戦略テーマ進捗状況初年度における実績と今後の実行計画



2021年3月期

- ・選択と集中の推進
 - •••先端産業市場向け戦略製品の半導体製造装置メーカー における採用数の増加と生産及びR&D拠点の増強
 - •••特定顧客向け商材·体制の強化と低収益製品の絞り込み など収益力の向上に向けた事業基盤の再構築着手
 - ···SOHOの活用等国内販売拠点の再編
- ・働き方改革への対応
 - •••リモートワーク体制(インフラ・制度)の迅速な整備

2022年3月期 2023年3月期

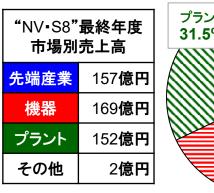
計画

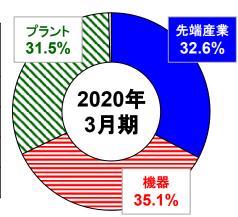
- •新規事業領域における業績の拡大
 - ***H&Sコンセプトによる新商材の業績化
 - ***オープンイノベーションの拡充
 - ***M&A*提携案件の具体化
- •事業構造の再構築の加速
 - •••選択と集中の拡大と徹底による事業採算性の改善
 - •••DXの推進による効率性の向上
 - •••"会社"の見直し(組織・人材)による活性化の促進
 - ▶"モノ売り"から"コト売り"へ ▶年功序列から実力重視へ



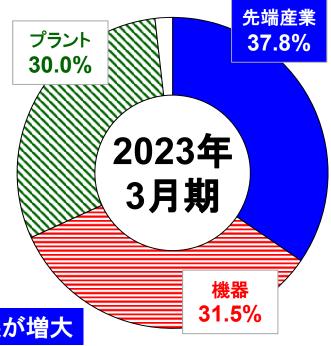
主要戦略テーマ進捗状況 成長市場向け戦略製品







"NF2022"最終年度市場別売上高先端産業 208億円機器 173億円プラント 165億円 その他 4億円



2021年3月期 先端産業市場売上高

165億円 ▶▶▶2022年3月期以降に戦略効果が増大

戦略製品①

先端産業市場向け高機能シール製品

*** 進行中 半導体製造装置メーカー向け製品(純正部品)の拡大

*** 実行 米国R&D拠点・中国製造拠点の本格稼働

戦略製品②

先端産業・プラント市場向け機能樹脂特殊タンク製品

・・・ 着手 台湾生産拠点の拡充 実行 米国拠点の再整備

• • • ^{進行中} 寿命診断等の関連サービスによる事業価値の向上



- >2021年3月期 連結決算·事業概況
- 一 中期経営計画 "NF2022" 戦略進捗状況
- ► 2022年3月期 予想 · 計画
- >創業100周年に向けて



事業環境認識(2021年3月期からの変動)



COVID-19からの回復が本格化するが、不透明要素も多い。

	環境認識	業績への影響
先端産業 市場	・半導体デバイスは日本・米国・台湾・韓国で 生産設備のフル稼働が続き、"コロナ前超え"も ・半導体設備投資は高水準が持続	⇒シール製品事業機能樹脂製品事業→その他事業
機器市場	・一般産業機器生産は回復するが、持続性に懸念・自動車生産は半導体懸念もあるが、力強く回復・インフラ関係は送配電・通信に拡大の期待	スシール製品事業機能樹脂製品事業
プラント 市場	国内大規模メンテナンスは案件数がやや減少プラントの高度化・効率化投資が一部で具体化高機能素材の生産設備への投資は堅調	▶シール製品事業機能樹脂製品事業

製造業の生産は回復に向かう基調に変わりはないものの、予断を許さない状況が続く



2022年3月期 実行施策



COVID-19の収束状況と事業環境の変化を見極めつつ、 将来の企業価値最大化に向けた戦略に沿った施策を実行

"**攻**" 業績 拡大

-戦略製品のR&D-生産体制の増強

- ***米国の新R&D拠点の活用等による半導体製造装置向け 新製品群の市場投入(高機能シール製品)
- ・・・台湾拠点の生産能力増強による旺盛な需要への対応力強化 (機能樹脂特殊タンク製品)

- DX Digital Transformation を軸とするCX Corporate Transformation の推進

- •••働き方改革とリモートワークへの対応の強化
- •••社外環境の変化に対応した人事制度改革の実行
- •••生産・販売・コーポレートにおける徹底した業務のデジタル化

- 事業構造改革の加速

- ・・・ 国内販売体制の再編の継続実施
- •••サプライチェーン・商材ラインナップの一段の絞り込み

"**宁**" 収益性 向上



連結業績予想



2022年3月期には多くの不透明要素が存在。状況の変化によっては、 予想・計画と実際の業績との間に乖離が発生する可能性がある。

- -新型コロナウイルス感染症 ・日本と周辺国間及び米国と中国間の外交・通商関係
- 日本を含む東アジア及び米国における半導体設備投資
- <u>・当社グループの</u>デジタル化や事業構造改革など効率化施策の進捗

	2021年3月期	2022年3月期 予想 (前期比)
売上高	44,717	48,500 (+8.5%)
営業利益	3,475	4,000 (+15.1%)
親会社株主 に帰属する 純利益	3,090	2,600 (<u>15.9%)</u>
営業利益率	7.8%	8.2%
ROE	9.0%	7.3%

策定前提	

- *2021年3月期4Qの景況を 基本に、事業リスクを 一定程度考慮し、策定
- *予想・計画の為替レートは 1米ドル=105円
- *予想ROEの算出に用いた 自己資本は2021年3月期末 の値であり、構造改革の 実施等による変動は 織り込んでいない

設備投資•R&D投資計画		
	2021年3月期	2022年3月期 計画 (前期比)
設備投資額 (着工基準)	3,549	2,600 (<u>^</u> 26.7%)
減価償却費	2,466	2,700 (+9.5%)
研究開発費	1,006	1,100 (+9.3%)



市場別・地域別・セグメント別計画値



市場別販売計画			
	2021年3月期	2022年3月期 計画 (前期比)	
先端産業 市場	165億円	183 億円 (+10.9%)	
機器 市場	146億円	155 億円 (+6.2%)	
プラント			

(*)3市場合計値と連結売上高との差額は"その他市場"

地域別販売計画			
国内	30,483	31,850 (+4.5%)	
国内比率	68.2%	65.7%	
海外	14,233	16,650 (+17.0%)	
海外比率	31.8%	34.3%	

セグメント別業績計画			
		2021年3月期	2022年3月期 計画 (前期比)
	売上高	31,349	32,000 (+2.1%)
シール 製品事業	セグメント 利益	4,160	3,600 (<u>13.5%)</u>
	セグメント 利益率	13.3%	11.3%
	売上高	10,742	13,300 (+23.8%)
機能樹脂 製品事業	セグメント 利益	▲ 588	300 (▲→+)
	セグメント 利益率	▲ 5.5%	2.3%
シリコン	売上高	2,625	3,200 (+21.9%)
ウェハー リサイクル 事業他	セグメント 利益	▲ 96	100 (▲→+)
子术记	セグメント 利益率	▲3.7%	3.1%



- >2021年3月期 連結決算·事業概況
- >中期経営計画 "NF2022" 戦略進捗状況
- > 2022年3月期 予想·計画
- | 創業100周年に向けて

創業100周年に向けて 一ありたい企業像一



▶ 創業100周年のありたい企業像

未来と未知に挑むチャレンジングな企業

一人類の豊かさと地球環境に貢献するために一



- 1. あくなき成長戦略の追求とモニタリング
- 2. 成長をゆるぎないものにする経営基盤の強化
- 3. より良き地球市民として「環境・社会・企業統治」 への積極的な取り組み

創業100周年に向けて 一長期経営目標ー



チャレンジなくして到達し得ない 高い水準の目標を設定

	2020年3月期
売上高	482億円
ROE	8.8%

	2027年3月期	<u>期間変動</u> 平均年間変動
		65.9%
	800億円 15.0%	
		7.5%
		+6.2pt
	15.0%	+0.9pt

- 新事業・新分野への 意欲的な展開
- M&A・提携の積極的な 実施
- 資本効率と財務健全性との 最適バランスの追求
- SDGsを強く意識した 企業活動の実践





参考

経営目標·計画数値① 市場別·地域別売上高



(百万円)

			2022 " 年度	
	2020年 3 月期	2023年 3 月期	期間 変動率	
先端産業 市場	157億円	208億円	+32.5%	
機器市場	169億円	173億円	+2.4%	
プラント 市場	152億円	165億円	+8.6%	

先端産業:半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等

機 器: 産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車等

プラント:重化学工業プラント(新設・メンテナンス)、電力・ガス等

(備考)3市場の他、上記に属さない分野を合算した"その他市場"

			(ロバリ)
	"NV•S8" 最終年度	"NF2 最終	
	2020年 3 月期	2023 年 3 月期	期間 変動率
国内	33,958	37,000	+9.0%
国内比率	70.4%	67.3%	▲3.1pt
海外	14,254	18,000	+26.3%
海外比率	29.6%	32.7%	+3.1pt

顧客のサプライチェーン変動が想定されるため、 海外売上高の内訳は未設定



参考

経営目標・計画数値② セグメント別業績・設備投資



(百万円)

		"NV•S8" 最終年度	"NF2 最終	
		2020年 3 月期	2023 年 3 月期	期間 変動率
シール	売上高	32,071	36,200	+12.9%
製品事業	セグメント 利益	3,360	4,500	+34.0%
機能樹脂	売上高	13,089	15,400	+17.7%
製品事業	セグメント 利益	554	1,000	+80.5%
SWR他	売上高	3,051	3,400	+11.4%
事業	セグメント 利益	299	0	_

	"NV•S8" 2 か年総額	"NF2022" 3か年総額
設備 投資額 (着工基準)	64億円	120億円

主要投資案件

<生産関連>

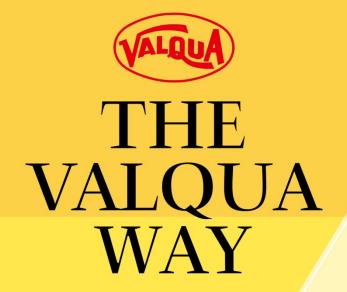
- ・戦略製品の生産能力増強・高度化
 - ・・・高機能シール製品
 (日本・中国・韓国)
 - ・・・機能樹脂特殊タンク製品(台湾)

<R&D>

- ・戦略製品専用R&D拠点の開設
 - ・・・高機能シール製品(米国)

<基盤整備>

- ・基幹システムの刷新
- ・リモートワーク体制の整備
- ・情報セキュリティの強化



Value & Quality (価値の創造と 品質の向上)

基本理念

- ・社会の発展のために
- ・正正堂堂と
- ・世界中のステークホルダーへ
- ・独創的技術で

4つの 経営理念

- (1) 事業を通じた社会への貢献
- (2) 顧客感動の提供
- (3) 人格と個性の尊重
- (4) 株主との信頼関係の構築
- (5) 地域社会との共生
- (6) 安全衛生は全てに優先
- (7) コンプライアンス遵守と誠実な行動
- (8) 環境にやさしいモノづくり
- (9) 資産の保全と有効活用
- (10) チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

行動指針 10項